

(4) 第20回県展移動展

地方に優れた芸術文化を紹介することによって地方特有の文化を高めるとともに、自ら文化を創造する力を育てる目的で、昭和44年度から実施してきた「地方巡回美術展」を昭和52年から内容の充実と部門の拡大を図り、「県展移動展」と名称を改めた。

本年度は20回目で、展示した100点の作品は、第50回記念県展の招待及び授賞等の作品であり、多彩で質の高い内容により各会場とも好評を博した。

ア 期日、会場、観覧者

6月30日～7月3日 昭和村立昭和小学校体育館 500名

7月6日～9日 東和町文化センター 1,142名

7月12日～15日 塩川町民体育館 584名

7月18日～21日 檜葉町町民体育館 776名

イ 展示数

日本画20点、洋画35点、彫塑15点、工芸美術15点、書15点、計100点

4 文化振興基金の充実の活用

県民の文化活動の活発化に伴い、文化振興基金の利用も多く、県民の文化活動促進のための原動力となった。

また、文化活動に関し優れた成果を収め、本県文化の普及・向上・保存及び伝承に貢献した個人及び団体を顕彰した。

ア 助成状況

種別	区分	件数	金額
成果発表事業		200件	15,181千円
発表会等への参加事業		18	4,282
文化団体への事業		6	6,817
特認事業		2	500
文化財の保護事業		5	439
計		231件	27,219千円

イ 顕彰者

部門	氏名
総合	星 賢 正
美術	関 谷 浩 二
音楽	福島市民オーケストラ
文学	加 藤 八 郎
〃	菊 地 啓 二
文化財の保護	大 堀 敏 雄

5 文化活動指導者養成確保

芸術文化指導者派遣事業

県単位の文化団体の要請に基づき、芸術文化事業にそれぞれ該当専門分野の指導者を派遣し、地域芸術文化活動指導者の養成の一助とするとともに、地域文化活動の活性化を図った。

派遣事業の名称	主催団体	期 日	場 所	派遣講師
第18回出品者研修会	福島県美術家連盟	6月23日～24日	県文化センター	室井東志夫
詩祭・講演と朗読の集い	現代詩人会	10月19日～20日	福島市民会館	新井 豊美
オペラ「ラ・ボニーム」歌劇演出研修会	福島オペラ協会	2月25日～26日	国見町観月台文化センター	小林 百香

第3節 文化の伝承の充実

1 文化財保護体制の充実

(1) 指定文化財保護体制の充実（文化財パトロール）

文化財保護の万全を期すため、民間の有職者21名を文化財保護指導委員に委嘱し、パトロール計画に基づいて、定期的に国・県指定重要文化財等や重要遺跡の巡視を行い、その実態把握に努めた。また、この巡視結果に基づいて、市町村教育委員会の協力を得ながら文化財の所有者等に対し指導・助言を行うとともに、文化財保護の啓発普及に努めた。

文化財保護指導委員

教育事務所	担当地区	氏名	所属・職業等
県北	福島	石井 宏幸	霊山町立霊山中学校 教諭
	伊達	菊池 利雄	国見町文化財保護審議会委員
	安達	阿部 正行	福島県立安達高等学校 教諭
県中	郡山	水井 保彦	郡山市文化財保護審議会委員
	岩瀬	戸石 清一	須賀川市文化財保護審議会委員
	石川	芳賀 満	石川町文化財保護審議会委員
	田村	佐久間信次	三春町文化財保護審議会委員